

臨床研究参加協力をお願い

研究名

「デキサメサゾン添加腕神経叢ブロックによる鎮痛効果の延長」

肩の腱板修復手術(肩鏡視下腱板断裂修復術:ARCR)をは、他の手術と同様、術後の痛みが強く、患者さんの苦痛を伴うものであります。

麻酔科としては、今年 3 月より手術室に超音波診断装置が採用されたことで、補助下にブロック注射(腕神経叢ブロック注射:BPB)を始め、安全に良質な術後鎮痛を提供することができるようになりました。しかし、その効果は施行後 8 時間と短く、夜には効果が消失してしまいます。

BPB にデキサメサゾンというステロイド薬を添加すると効果を延長できるという文献があり、当科でも採用したところ、明らかに効果の延長があったので、7 月以降はデキサメサゾン添加で BPB を施行しています。しかし、その適切な添加量については、論文的にも統一見解はなく、また、合併症についても十分な評価がなされていません。

今回、その添加量、効果および合併症について、2016 年 3 月から 2017 年 4 月までの期間で、BPB を施行した患者さんを対象として、診療録から個人を特定できな

い形で効果時間や合併症の有無などの情報を用いた調査・研究を行っております。

診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら、東北労災病院

麻酔科：岩川力までご連絡ください。